

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度（2023年3月～2024年2月）



1

事業活動の概要

会社名	キクラ印刷株式会社
所在地	富山県高岡市樋詰 48-2
創立	昭和 40 年 9 月 1 日
設立	平成 4 年 12 月 25 日
資本金	5,000 万円
代表者・環境管理責任者	代表取締役社長 木倉 雅彦
環境管理責任者連絡先	富山県高岡市樋詰 48-2 TEL 0766-31-2794 FAX 0766-31-3526
とりくみ範囲	全社員・全活動
事業の内容(認証・登録範囲)	印刷物の企画・制作・印刷および製本
事業の規模(平成 30 年度)	主要生産量 約 365 t / 従業員 20 名 / 延べ床面積 1,374㎡

2

環境経営方針

基本理念

私たちキクラ印刷株式会社は、富山県の呉西地区、庄川水系に位置し、周辺は水、自然に恵まれています。水資源は、豊富な水量の地下水脈があるため、地下水を利用しています。地下水の利用については、工場建設時に地元自治会の理解を得ており適正使用に努めます。

印刷物の製造にあたっては、「再生紙の使用促進と生産工程で排出される紙の分別によるリサイクルの促進、営業・生産活動の効率化による省エネルギー推進」。事業活動においては、「環境関連法等を遵守し、地域の環境保全に配慮すること」。以上 2 点を課題として地球温暖化の防止に貢献したいと考えています。

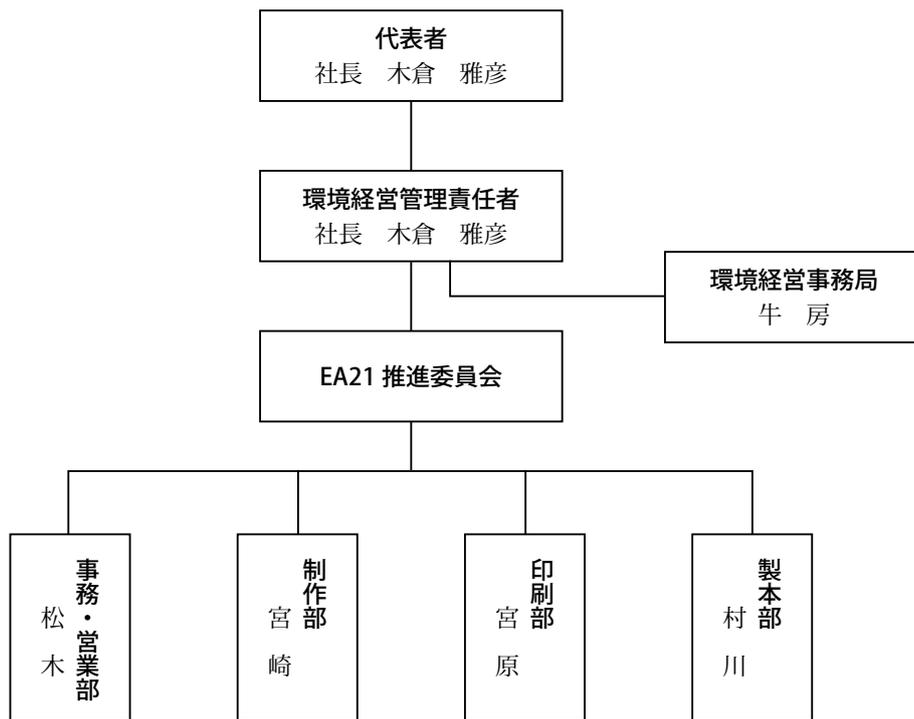
行動指針

1. 基本理念に基づき、事業活動に当たって環境に配慮し、環境保全活動を推進します。
2. 環境に関連する法規・条例を遵守し、環境保全に努めます。
3. 以下に、具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的に改善に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量削減
 - ② 廃棄物の削減及び分別によるリサイクルの促進
 - ③ 事務用紙、校正紙の適正利用
 - ④ 印刷製品の不良率の低減
 - ⑤ 水資源の適正循環利用
 - ⑥ 環境に配慮した製品の使用
 - ⑦ 環境経営方針を従業員に周知、社会貢献（地域の清掃活動など）への参加を呼びかけ
4. 全社員一丸となり、環境経営レポートを公表し、地域社会の一員として環境保全活動の推進に努めます。

制定 平成 19 年 9 月 1 日
 改訂 平成 31 年 3 月 30 日
 代表取締役社長 木倉 雅彦

3

実施体制組織図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 環境経営管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営活動レポートの承認
環境経営管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・活動計画書を確認 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営活動レポートの確認
環境経営事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 環境経営目標・環境活動計画書原案の作成 環境経営活動の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境保全活動へ参加

環境目標一覧

項 目		2021年度 (2021.03~2022.02) 実績(基準値)	2022年度 (2022.03~2023.02) 目 標 基準比 1%削減	2023年度 (2023.03~2024.02) 目 標 基準比 2%削減	2024年度 (2024.03~2025.02) 目 標 基準比 3%削減
電力使用量(kWh/年)		255,225	252,672	250,120	247,568
燃料使用量	ガソリン使用量(L/年)	4,399	4,355	4,311	4,267
	軽油使用量(L/年)	2,091.5	2,070.6	2,049.7	2,028.3
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /年) ※1		162,233.1	160,610.8	158,988.4	157,366.1
廃 棄 物	一般廃棄物(焼却ごみ)(t/年)	5.4	5.35	5.29	5.24
	産業廃棄物(紙類)(t/年)	121.2	119.9	118.8	117.6
	産業廃棄物(その他)(t/年)	4.7	4.65	4.60	4.56
水使用量(m ³ /年)		619.2	613.0	606.8	600.6
環境に配慮した製品の使用		意識向上を図るよう情報収集に努める			
環境に関する社会貢献活動への呼びかけ(23年より)		近隣地域での清掃ボランティア活動への参加の呼びかけ			

PRTR法に記載される化学物質を含む薬品の使用は微量で、かつ仕事の量により変動するため数値化しての使用量削減は困難な状況にある。過度の使用をしないよう適正に管理していく。

※1 二酸化炭素排出係数は北陸電力の2017年調整後排出係数0.574kg-CO₂/kwhを使用

実績一覧

項 目		2023年度 (2022.03~2023.02) 目 標 値	2023年度 (2023.03~2024.02) 実 績 値	達成率(%)	評 価
電力使用量(kWh/年)		250,120	261,132	95%	○
燃料使用量	ガソリン使用量(L/年)	4,311	4,751	90%	○
	軽油使用量(L/年)	2,049.7	1,646.2	124%	○
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /年) ※1		158,988.4	140,700.3	112%	○
廃棄物	一般廃棄物(t/年)	5.29	8.02	65%	△
	産業廃棄物(紙類)(t/年)	118.8	85.9	138%	○
	産業廃棄物(その他)(t/年)	4.6	9.3	49%	△
水使用量(m ³ /年)		606.8	628.8	96%	○
環境に配慮した製品の使用		特に理由のない場合はすべてグリーン商品を購入しています			
環境に関する社会活動への呼びかけ(23年より)		地域での清掃活動への参加を呼びかけています			

評価… ○:80%以上(達成) △:80%未満(未達成)

営業部・事務

取組み内容	結果	評価	次年度への取組
ガソリン、軽油の削減	○	常に意識して実行している	今後も継続して行う
営業・配送回りの効率化、エコドライブの実施 (ふんわりアクセル・ムダなアイドリングをやめる)	○ △	日々のエコ運転を意識してもらう 県西部、石川県への営業を効率よく回る	
新規訪問先の予定を立てて報告	△	なかなか新規訪問ができていない	前の週に訪問計画を立て実践する
週一回、顧客別の訪問回数を報告書を提出	○	毎日日報の提出を行っている	今後も継続して行う
納品前に必ず完成品を確認する	○	納品前の確認に留意している	
印刷製品不良率低減	○	内校正を複数丁寧にする 受注の際にメールやFAXで確認を取る	
グリーン物資の購入	○	環境に配慮された資材を検討・購入	
ネットでの受付、ラインでの取引を推進	○	ラインの活用が広がった	

- ・校正はできるだけPDF化し、メールでのやり取りを推進する。往來の数を減らし時間・燃料ともに削減を進める。
- ・3ヶ月に1度、営業先の見直しをする。

制作部

取組み内容	結果	評価	次年度への取組
休み時間の電気消灯	○	最後に退出する人は消灯確認する	今後も継続して行う
担当者は刷り出しと完成品を確認する	○	刷り出しはうすいことが多く、要確認	
校正紙の管理	○	サイズごとに箱を用意して分類	
CTPのメンテナンス・清掃	△	3ヵ月に1回の清掃が目安だが繁忙期はズレることも多い	
冷暖房の温度調節	○	CTPの温度管理のためにも利用	
確認・校正等は紙を使わずメールで行う	○	メール等が苦手な方（年配の方）への理解を拡げる	
オンデマンド印刷における用紙の管理	○	予備用紙の基準を設定しムダをなくす	忘れることもある。注意したい
オンデマンド機の機械の状態管理	△	キャリブレーションを定期的に行い、色のブレをなくします	
ゴミの減量と分別（上質紙・その他紙・プラ）	○	残りの紙は各自区別しておいておく。 必要以上に余らないよう数量を確認する	今後も継続して行う
窓口やTELで受けた仕事はすぐ受注書入力	△	校正の提出先が複数ある場合は注意事項として記入。漏れをなくす。	忘れることもある。注意したい

- ・校正・CTP版出力の確認を促すについて、PDF変換時に文字化けしていたり、版を間違えて出していたり、板に傷ついたりすることが時々あるのでしっかり確認する。責任者だけでなく、制作部全員が気をつける。
- ・プリンターでの汚れを減らしたい。定期メンテナンスの実践。刷りだしの際には全頁の確認を徹底。ムラやカスレに注意する。

印刷部

取り組み内容	結果	評価	次年度への取組
水の交換・ローラー厚の管理・パネルの清掃・使用枚数の報告	△	水は半年に1回、ローラーは月1回、パネルは2日おき、使用枚数～毎日	引き続き適正管理に努めたい
廃棄する時上質だけ分ける・在庫紙の整理	○	実施している	今後も継続して行う
トラックヤードの掃除・廃油の掃除	△	見落としや忘れが多い	引き続き適正管理に努めたい
CTP・アルミ缶の分別	○	実施している	今後も継続して行う
床のモップがけ	△	製本部のメンバーもフォローし意識を高め合う	引き続き適正管理に努めたい
エアコンのフィルター、内部のふきとり	△	定期的実施している	今後も継続して行う
ろ過フィルターの掃除	△	見落としや忘れが多い	引き続き適正管理に努めたい
パウダーの掃除、機械のほこり落としをする	△	各自実施している。清掃は見落としが多いので互いに声をかけあい清潔を保つ	引き続き適正管理に努めたい
ヤレ紙の整理・水の交換	○	実施している	今後も継続して行う
CTPより排出される紙及びケースの分別処理	△	再利用ができています	適正管理に努めたい
フォークリフトのバッテリー補充	△	定期的実施している	今後も継続して行う

- ・断裁機のモーターのスイッチの切り忘れをなくす。
- ・印刷刷り出しの確認を制作の人、もしくは営業の人にしてもらう。（版が正しいかどうか、刷り色は合っているか。）
- ・用紙の断裁時には必要数を把握し、余分な使用のないよう全員が心掛ける。
- ・床が汚れないように、インキツボを洗うときブルーシート等、敷く。

製本部

取り組み内容	結果	評価	次年度への取組
休み時間の電気消灯	○	確認しています	今後も継続して行う
断裁刃のメンテナンス・交換	○	実行されている	
製本・折り機のメンテナンス	○	音で交換。たまにほこり落とし 一ヶ月に一回グリス入れ	
冷暖房の温度調節	○	実行されている	
商品の品質を確認する(汚れやムラのチェック)	○	断裁・折り・梱包のそれぞれの持ち場で確認しています	
ゴミの減量と分別 (上質紙とその他の紙、プラスチック)	○	実行されている	
製品置き場の整理整頓、断裁くずの整理	○	確認しています	
無線機を使用したとき、換気を行う	○	実行されている	

- ・無線綴じはのりが溶けにくいので、無線綴じがあるときは前もって予定を伝える。
- ・製本する前に印刷物の確認を営業、もしくは制作の人に確認をとる。
- ・商品に汚れがあった場合は原因を明確にし、個別対応をせず全部門の問題として報告する。
- ・受注書と一緒に折り見本などのサンプルをつけることでミスが減る。

環境関連法規の一覧表を作成し、1年に一度改定のチェックをし、環境関連法規への違反はありません。
提訴された事実および関係当局より違反の指摘は過去ありません。
過去10年以上外部からの苦情はありません。

環境関連法規等の確認

① 消防法

- ・危険物の管理、消火器等の設置

② PRTR 法

- ・化学物質等安全データシート（MSDS）による情報提供により確認印刷室で使用する2点が該当している
 - ◆ニューソル DX ハイソフト（第3種有機溶剤）
 - ◆CTP クリーンペン（第1種指定化学物質）
- 適切な管理を実施しており、有害性を把握し周知を進める

③ 廃棄物処理法

- ・産業廃棄物の委託処理契約
- ・マニフェスト管理
- ・一般、産業廃棄物の分別を徹底

④ 有機溶剤中毒予防規制

- ・張り紙などで注意喚起
- ・有機溶剤の購入量の管理

⑤ フロン排出抑制法

- ・業務用空調機を四半期ごとに簡易点検を実施。

⑥ 浄化槽法

- ・点検、清掃、定期点検（浄化槽）

⑦ 労働安全衛生法

- ・労働災害の防止対策の推進
- ・有機溶剤による健康被害の無いよう管理・取扱いの注意喚起を推進

地域社会への貢献を推進中

仕事を通じて県内の海岸に漂着したごみをひろう活動に参加しています



7 次年度への取り組み

次年度の活動計画として、引き続き3つの改良を目指す。1番目に不良品をなくすために技術、能力を高めることで生産効率を上げる。品質安定により損紙の削減に取り組み、廃棄物を減らす。2番目に廃棄物、不良品を減らすために校正と校了の確認を徹底する。ガソリン使用を減らす為に、電子データをうまく活用し車での往來を減らす。各工程の区切りに確認作業を義務づけるようにする。3番目に昨年同様、品質の向上を目指すための機械整備、清掃に全社的に取り組む。

項 目	改善および具体的な取り組み
二酸化炭素排出量削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートワークの活用・推進で従来より負担の少ない働き方を考える ・エアコンの適温設定を確認、クールビズの推進(会社ポロシャツの全員支給) ・営業範囲が広範囲となる中 直行直帰など柔軟な時間割を考える ・顧客の理解を得ながら紙原稿からデータへ、メールを使用し往來を減らす ・グループウェア「ゲーグルチャット」を活用し時間の短縮化を図る
廃棄物の削減、リサイクル推進	<ul style="list-style-type: none"> ・5S推進を呼びかけ、ミスを減らすために事故情報の共有を勧める ・制作スケジュールを管理し、用紙の発注もれやロスをふせぐ ・トナーカートリッジはすべてリサイクルへ
事務用品、校正紙の適正利用	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客との校正やり取りはできるだけ紙からPDFへの移行を進める ・メールやクラウド通信の活用をすすめ、紙の出力を減らしていく
印刷製品の不良率の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・制作物に対する校正を正確にし、更に信頼を高める ・工場の清掃、機械の整備・点検を徹底し安定した品質に努める
水資源の適正循環利用	<ul style="list-style-type: none"> ・水道の流しっぱなし厳禁、ポスター掲示で周知
環境に配慮した製品の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品についての情報収集をすすめ、積極的に購入する
環境に関する社会活動への呼びかけ (23年より)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における清掃活動や環境保護活動などへの参加呼びかけを行う

8 代表者による全体の評価と見直し

エコアクション報告書には記載されませんが、おかげさまで会社の年商は上昇していて営業人員も増加つまり営業車の台数も増えています。数年前にはフラッグシップとなる主力の印刷機械を更新したことによっていわゆる損紙率は下がっていると感じていました。

その結果はある意味予想通り反映されていて、営業車の台数は増えたもののハイブリッド率が高まったことによって総量は微増。電力量はほぼ横ばい。納品数量は増加していても損紙は減、廃棄物の増加はいたしかたないと考えます。

今後はさらなるブラッシュアップ項目を自社なりに検討実践していくことが課題となるので、全社員にて意識の徹底をしていきたいと思えます。

2023年10月 木倉 雅彦